

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②事業者情報

名称：	コンビプラザ川口東保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	小野 登美子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒 332-0012 川口市本町4-5-26 202-2	カメラiapラザ	TEL 048-227-1108

③評価実施期間

平成 2016 年 7 月 19 日 (契約日) ~平成 2017 年 3 月 23 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

多種の保育を行う中で子どもたちは異年齢児との多くの関わりを経験している

当園は細長の保育室が2部屋あり、0～1歳児と2～5歳児に分けて保育を行っている。2～5歳児の保育室は活動によってカーテンで分けて使用しており、時間帯によって合同保育の活動、クラス別の活動、縦割りの活動と1日の中でも多種の保育を行える特殊な環境となっている。その中で子どもたちは異年齢の子どもとの交流で思いやりや憧れなどの思いが育まれているのが確認されている。年少児が年長児を身近な目標にしてそれを目指そうとする思いや、年長児が年少児に優しく接したり時には譲る経験をする事は、兄弟姉妹の少ない子どもたちの人間関係構築の大きな支援となっていると思われる

合同保育を行う中で保育士の連携がスムーズに行われている

2～5歳児がひとつの保育室を使用しているために、保育室を協力して使用することが不可欠な状況であり、保育士が互いのクラス活動を周知し、それぞれのクラス活動が有効に行えるように努めている。0～1歳児クラスを利用することも念頭に置きながら、柔軟な対応で子どもたちがより良い環境で活動ができるように配慮している。今回のアンケート結果でも「第二の家のように」「アットホームな保育園」「大きな家族のようです」などの意見が散見されており、合同保育を受け入れながら、保育士の連携によりスムーズにまたフレキシブルにクラス活動が行われていることがうかがえる。

保護者参加の行事は早めに案内し、終了後はアンケートを実施している

年間行事を年度初めの全体保護者会で報告し、無理のないような行事日程を組み、保護者の負担にならないように努めている。夏祭り、運動会、親子クッキング、発表会などでは、普段見られない自分の子どもの姿を見てもらうために、行事等は早くから計画をたて、園便りなどでも適宜伝えている。行事終了後には保護者にアンケートをおこない、反省・改善点を抽出することに取り組んでいる。アンケートなどで把握した意見は、アンケート内容や園のコメントなどを分かりやすいような書式を設け、アンケート結果と共に掲示している。

◇特にコメントを要する点

歯ブラシをする際には事故防止への配慮を期待したい

1～5歳児クラスで食後に歯ブラシを行っている。朝家庭から歯ブラシを持参し、持ち込み専用の歯ブラシ立てに並べられているとのことで、訪問調査時も食後に子どもたちが歯ブラシをしている姿を確認することができた。虫歯予防のために保護者からの歯ブラシの要望が高いことは理解できるが、多くの子どもが動き回る中での歯ブラシの危険性について職員の意識の検証を願いたい。歯ブラシを口にくわえて歩いている姿や立ったままの歯ブラシをする姿の先には事故が潜んでいるという事故に対する意識改革を望みたい。

子どもの視点にたつという支援を期待したい

園の行事や懇談会を土曜日に開催するなど働く保護者が参加しやすいように配慮をして、0歳児クラスから延長保育を受け付ける、ウェブで常時保育の様子を確認できるなど、保護者視点に寄り添った保育を心がけている。それらは保護者にも受け入れられ、園の姿勢は保護者からは高く評価されている。しかしながら保護者の意向で、補食や夕食を食べる子、食べない子の対応をしているという点については、その場で同じ時間まで一緒に過ごしているにも関わらず、どう感じているかという子どもの気持ちへの配慮が欠けていることが憂慮される。補食に限らず、保護者の意向を受け入れることと子どもへの支援（長期的な視点からも）は合致しない部分が生じることは理解できるが、まず子どもへの支援として適切であるかの視点を園として示す姿勢を望みたい。

職員のスキルをさらに向上させることを目指している

本部の研修体制が確立され、職員は各種の研修に参加できる環境にある。園内研修も実施し、日々の保育の現場では主任や施設長のアドバイスがあるが、さらに園内で多様な学びの場を充実させることを検討している。保育理念の実践やクラス運営での問題、保護者や支援の必要な子どもとの関わりなど、様々な課題に対し職員同士がお互いに学び、スキルアップのための園内研修や勉強の場を整備し、保育力の向上に結びつけることを目指している。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

歯ブラシに関しては、安全に実施できる場所の確保を行い、改善に取り組んでいく。安全上実施が難しいと判断した場合は、歯みがきを止めることも検討する必要がある。
夕食・補食の提供については、お子さまの混乱を避けるためにも、今後は夕食のみの提供も検討していきたい。
職員のスキルをさらに向上させる取り組みに関しては、本社での委員会活動を受けて、本社・園・外部研修の強化を進めていく。
平成30年度施行の新保育所保育指針改定に向け、学びを重ねていく。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり